

職員室のみんなで考える 教職員の人材育成

～学校組織づくりを充実させ個人の成長につなげる～

西部教育局
お役立ち情報
令和5年3月号

「人材育成」は管理職だけではなく、教職員一人一人が、人材育成のために必要なこと(自分の役割)等について考えて取り組むべきものです。本号では、メンターチームを中心にした「チーム学校」でのOJTを通して、全ての教職員が個々の力を伸ばす取組について御紹介します。

【取組例】若手教職員の育成を中心にした組織的な「人材育成システム」の活用



この取組のポイントは「OJT」です。「OJT」はOn the Job Trainingの略で、校内における日常の業務を通じて、教職員として必要な知識や技能、態度等を身に付け高める育成活動のことです。



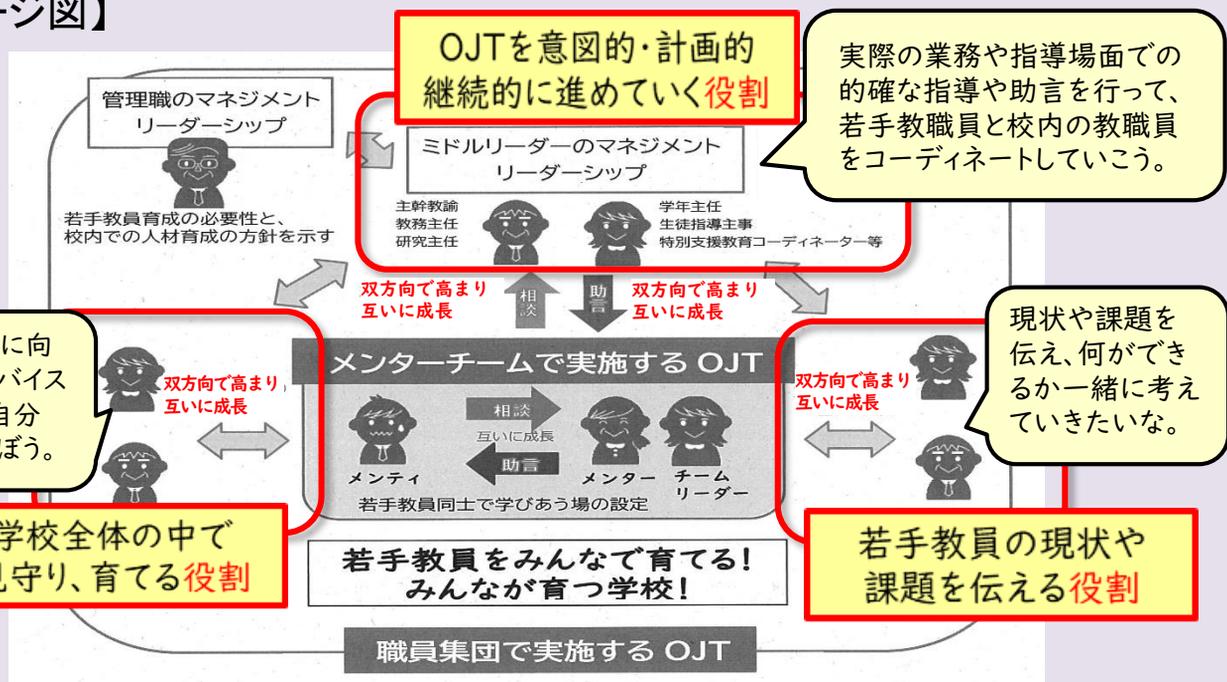
※参考資料
「OJTによるひとり人材育成の手引き」
鳥取県教育委員会(令和3年4月)

OJTの効果は…

- 実践的な人材育成
- 適時、的確な人材育成
- 意図的・計画的・継続的な人材育成
- 校内の学びの体制づくり
- 仕事の効率化・職場の人間関係、信頼関係の構成

下の【イメージ図】で示しているような「人材育成システム」を活用して、組織として意図的・計画的・継続的にOJTを進めることで、若手教職員の育成とともに、**全ての教職員がそれぞれの役割の中で成長できる組織づくり**の実現が期待できます。

【イメージ図】



授業改善に向けて、アドバイスしながら自分自身も学ぼう。

学校全体の中で見守り、育てる役割

若手教員をみんなで育てる! みんなが育つ学校!

若手教員の現状や課題を伝える役割

check 演習

上の【イメージ図】の中で、学校組織内の自分の役割はどれに当たるでしょうか。また、その役割を通して、どのような成長が期待できるでしょうか。個人で考えたり、職員間で話し合ったりした結果をもとに、次年度の学校組織づくりの充実や自己のさらなる成長につなげましょう。

授業改善に向けて若手の先生に助言することは、自身の教材研究の充実につながるな。

中堅教員として助言するだけでなく、教職員同士をコーディネートする力をつける必要があるな。

自分の役割は…

【メモ】どんな成長が期待できるか。次年度に向けては…